

兵庫県下の経済動向

平成26年5月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、緩やかに回復しつつある。個人消費は消費税率引き上げの影響による振れを伴いつつも、基調としては緩やかに持ち直している。また、設備投資は持ち直しているほか、公共投資は増加している。住宅投資は増加しているものの、足もとでは消費税率引き上げに伴う反動もみられる。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が3か月ぶりに前年実績を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽貨物車およびバスが減少し、9か月ぶりに前年を下回った。

家電販売は、持ち直しつつある。

設備投資は、製造業、非製造業ともに増加しており、26年度は増加となる見込み。

住宅投資は、貸家が増加したが、持家、給与住宅、分譲住宅が減少し、全体では8か月ぶりに前年を下回った。

公共工事請負金額は、兵庫県で大幅減となるも、その他の団体、神戸市を除く市町、独立行政法人等、国で著増、神戸市で大幅増となったことから、3か月連続して前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出はEUおよび中国を含むアジア向けが減少したが、米国、中国向けが増加し、2か月ぶりに前年を上回った。また、輸入については16か月連続して前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、6か月連続して前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を下回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数および一人当り名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を上回ったが、負債金額は前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

2月の兵庫DIは、先行指数71.4%、一致指数77.8%、遅行指数25.0%となった。

2月の兵庫CIは、先行指数103.2、一致指数116.3、遅行指数103.6となった。

兵庫DIは、先行指数が6か月連続で50%を上回り、一致指数が6か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月連続で前月差減、一致指数は6か月ぶりに前月差減、遅行指数は3か月連続で前月差減となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は、改善を示している。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

3月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は103.1、前月比0.6%減少。出荷指数は96.9、同0.6%増加。在庫指数は110.8、同0.3%減少。在庫率は106.2、同17.7%減少。生産指数は2か月連続で低下、出荷指数は2か月ぶりに上昇、在庫指数は3か月連続で低下した。

前年同月比(原指数)では、生産は6.8%増で6か月連続で上昇、出荷は7.9%増で6か月連続で上昇、在庫は2.5%減で2か月連続で低下した。

主要業種の生産動向を対前月比で見ると、一般用タービン発電機等の「電気機械工業」が9.6%、化粧品等の「化学工業」が6.5%、旅客車等の「輸送機械工業」が6.3%、ビール類等の「食料品工業」が3.4%、蒸気タービン部品等の「はん用・生産用・業務用機械工業」が0.1%各々上昇し、セメント等の「窯業・土石製品工業」が8.0%、固定通信装置等の「情報通信機械工業」が4.0%、ねじり棒ばね等の「金属製品工業」が2.0%、その他の金属めっき鋼板等の「鉄鋼業」が1.1%各々下落した。

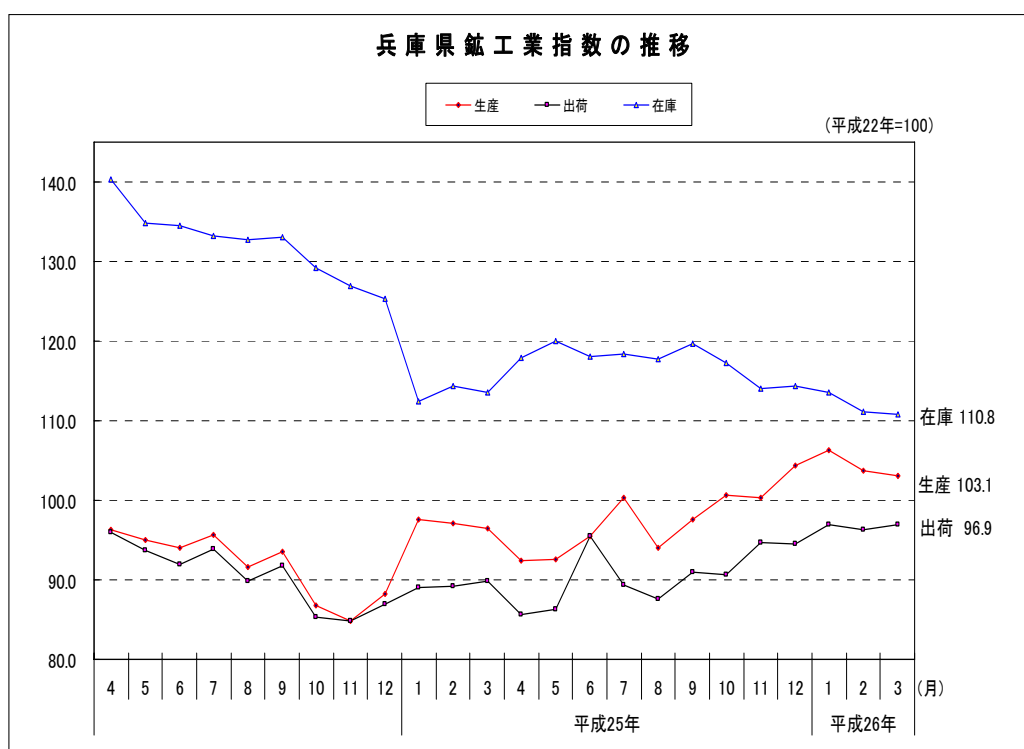
県統計課は、基調判断を「横ばい傾向にある。」とした。

3月の兵庫県鉱工業指数

(速報、平成22年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	103.1	▲ 0.6	117.0	6.8
出 荷	96.9	0.6	109.3	7.9
在 庫	110.8	▲ 0.3	107.3	▲ 2.5
在 庫 率	106.2	▲ 17.7	92.3	1.3

資料：兵庫県企画県民部統計課



3月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	104.3	▲ 1.1	上昇	鋼半製品、ブリキ、粗鋼、鋳鉄铸件
			低下	その他の金属めっき鋼板、H形鋼、鉄系鍛工品、普通鋼線材
金属製品	105.0	▲ 2.0	上昇	ガス風呂がま、作業工具、ガス湯沸器、機械刃物
			低下	ねじり棒ばね、ガス温水給湯暖房機、石油温水給湯暖房機、超硬チップ
はん用・ 生産用・ 業務用 機械	96.7	0.1	上昇	蒸気タービン部品、熱交換器、ショベル系掘削機械、機械式駐車装置
			低下	混合機・かくはん機・粉砕機、一般用蒸気タービン、マシニングセンタ、ボイラ部品
電気機械	119.0	9.6	上昇	一般用タービン発電機、電力変換装置、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、電気がま
			低下	リチウムイオン蓄電池、開閉制御装置、プログラマブルコントローラ、避雷装置
情報通信 機械	114.0	▲ 4.0	上昇	ノート型パソコン、携帯電話、無線位置測定装置、テレメータ・テレコントロール
			低下	固定通信装置、カーナビゲーション、搬送装置、レーダ装置
輸送機械	105.2	6.3	上昇	旅客車、シャシー・車体部品、機関部品
			低下	発動機部品、二輪自動車(125ml超)、機体部品、船用ディーゼル機関、
窯業・ 土石製品	103.5	▲ 8.0	上昇	タイル、不定形耐火物、複層ガラス、安全ガラス
			低下	セメント、ほうろう鉄器製品、ファインセラミックス(構造物)、ガラス製容器類
化 学	115.6	6.5	上昇	化粧品、酢酸(99%換算)、シンナー、シクロヘキサン
			低下	医薬品、自動車排気ガス浄化用触媒、溶剤系合成樹脂塗料、複合肥料(化成肥料)
食 料 品	102.2	3.4	上昇	ビール類、精米、配合飼料、めん類
			低下	砂糖、チーズ、冷凍調理食品、牛乳

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた4月の県内百貨店売上高は、前年同月比15.4%減の135億79百万円だった。消費税増税前の駆け込み需要の反動減があり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

全国平均12.0%減を上回る反動減だが、多くの百貨店は「減少幅は想定範囲内で、6月には例年並みに戻ることを期待している」としている。

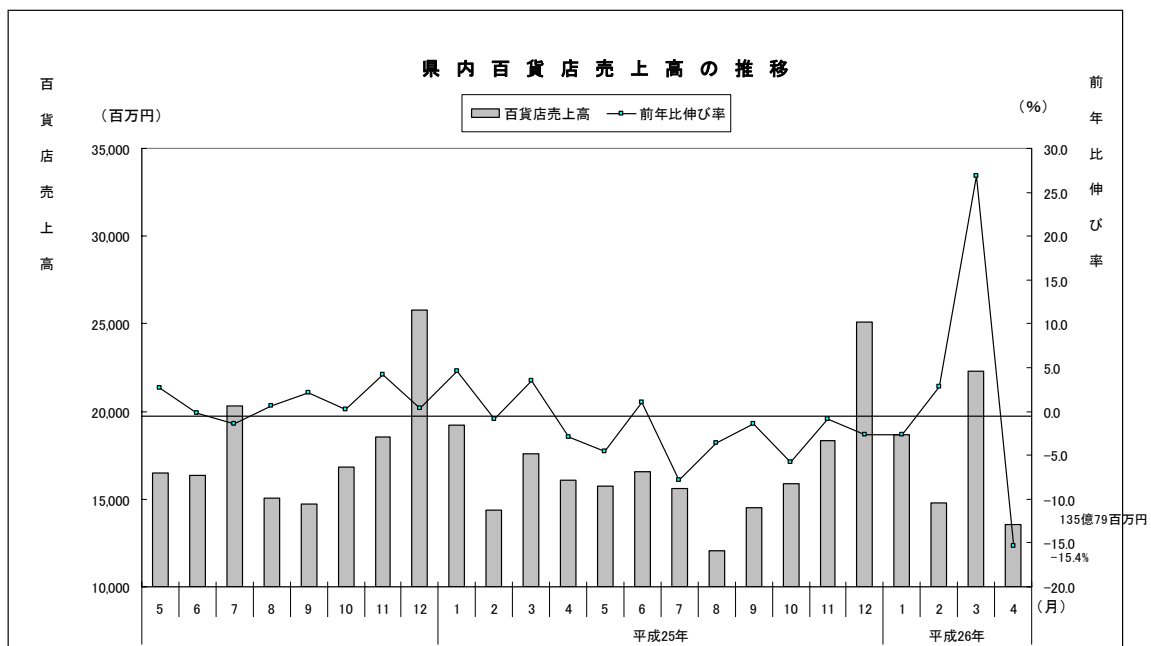
神戸地区は14.5%減（3月は27.4%増）。婦人服や化粧品、宝飾品などの減少が目立った。姫路地区は19.3%減（同23.7%増）。ヤマトヤシキ（姫路市）は「ゴールデンウィーク明けからは、かなり持ち直している。増税が中元商戦にどう影響するのか、注視したい」とした。

4月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	570(▲19.0)	151(▲16.1)	722(▲18.4)
婦人服・洋品	3,522(▲16.9)	577(▲19.3)	4,100(▲17.2)
子供服・洋品	345(▲10.5)	112(20.0)	457(▲ 4.5)
身の回り品	1,075(▲22.9)	237(▲21.4)	1,313(▲22.7)
家庭用品	392(▲30.1)	108(▲32.8)	501(▲30.7)
食料品	3,292(▲ 0.7)	658(▲12.4)	3,950(▲ 2.9)
雑貨	1,478(▲21.1)	277(▲35.7)	1,755(▲23.8)
その他	530(▲17.4)	248(▲17.3)	779(▲17.4)
計	11,207(▲14.5)	2,372(▲19.3)	13,579(▲15.4)

* 単位百万円、百万円未満切捨て。()内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内4月の乗用車新車登録台数は10,732台、前年同月比10.4%減と9か月ぶりに前年同月の実績を下回った。

4月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は3,179台(前年同月比23.8%減)、小型乗用車は3,210台(同9.7%減)、軽乗用車は4,343台(同2.1%増)、乗用車合計で10,732台(同10.4%減)となった。

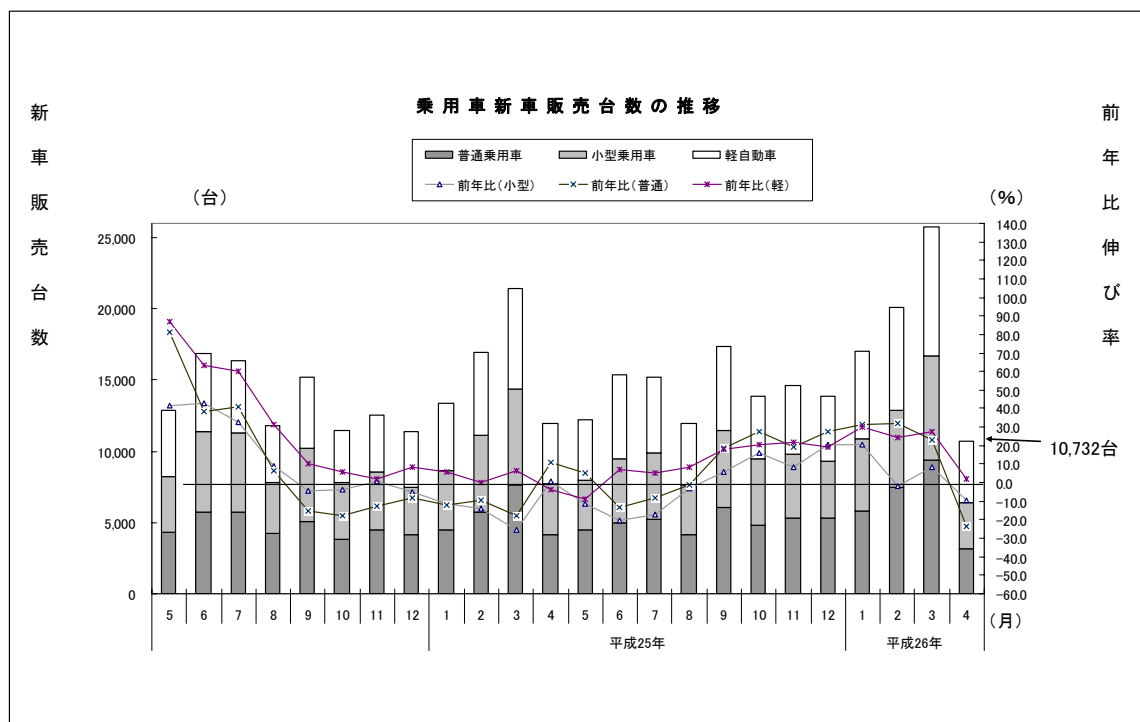
また貨物車等では、普通貨物車は270台(同37.1%増)、小型貨物車594台(同18.1%増)、軽貨物車は1,018台(同4.9%減)、バスは25台(同34.2%減)となった。

4月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	3,179	▲ 23.8	75,636	▲ 16.9
小型乗用車	3,210	▲ 9.7	89,850	▲ 7.0
軽乗用車	4,343	2.1	127,335	5.3
乗用車合計	10,732	▲ 10.4	292,821	▲ 5.1
普通貨物車	270	37.1	6,817	▲ 13.1
小型貨物車	594	18.1	15,918	▲ 5.3
軽貨物車	1,018	▲ 4.9	29,022	▲ 6.6
貨物車合計	1,882	6.3	51,757	▲ 7.1
バス	25	▲ 34.2	643	▲ 28.6
登録車総計	12,639	▲ 8.3	345,221	▲ 5.5

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が5月19日に発表した機械受注統計によると、平成26年3月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、26年2月前月比3.3%減の後、26年3月は同4.0%増の2兆3,198億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、2月前月比4.6%減の後、3月は同19.1%増の9,367億円となった。

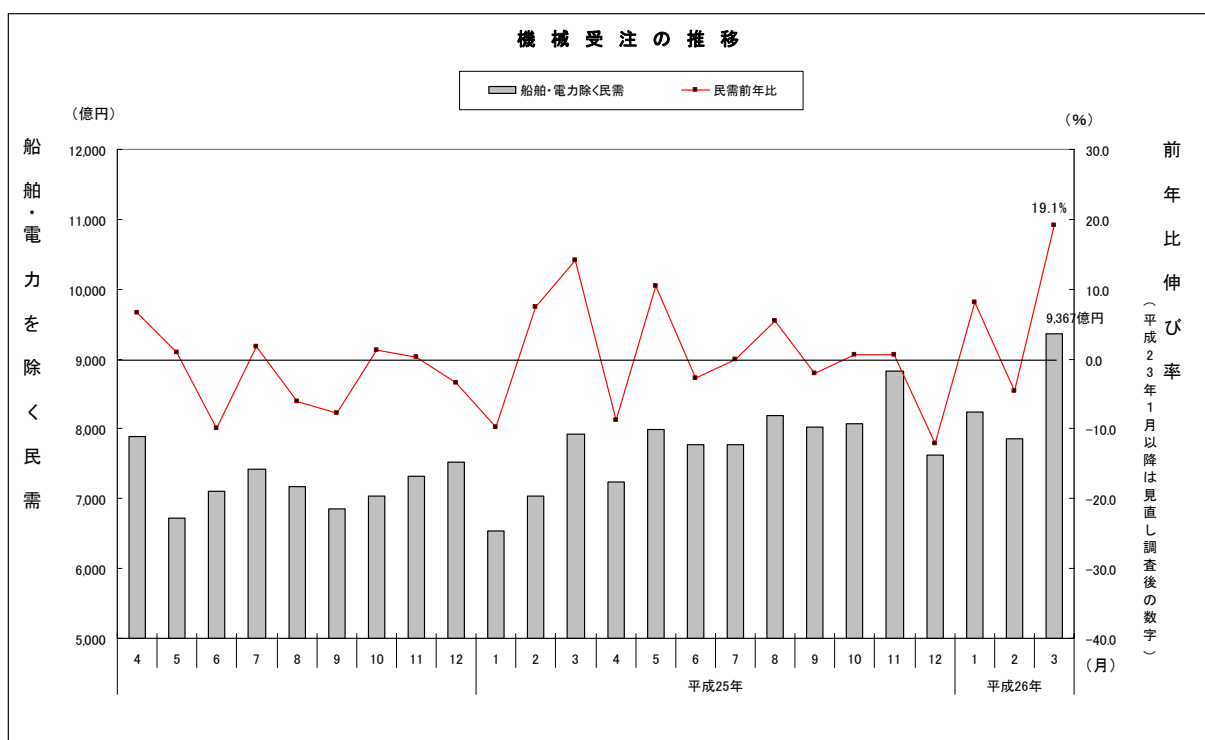
内訳をみると、製造業が同23.7%増の3,846億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同8.5%増の5,151億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、非鉄金属(270.1%増)、「その他輸送用機械」(68.7%増)、石油製品・石炭製品(20.7%増)、造船業(19.0%増)、化学工業(15.0%増)等の9業種で、パルプ・紙・紙加工品(26.6%減)、鉄鋼業(22.1%減)、金属製品(8.9%減)、精密機械(7.1%減)等の6業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、電力業(62.6%増)、通信業(27.1%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(17.7%増)、情報サービス業(6.7%増)等の6業種で、農林漁業(27.8%減)、運輸業・郵便業(26.1%減)、建設業(12.5%減)、金融業・保険業(10.2%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2014年度設備投資額は、製造業、非製造業ともに増加を見込んでおり、全産業でも増加計画。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2014年3月 ——兵庫県——
設備投資計画：全産業前年度比+6.6% (製造業+7.6%、非製造業+2.6%)



機械受注統計 (平成26年3月分)

	25年 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	26年 1～3月 実績	25年 12月 実績	26年 1月 実績	2月 実績	3月 実績
受注総額	62,232 (3.9) [4.7]	65,886 (5.9) [21.4]	65,764 (-0.2) [15.9]	68,594 (4.3) [10.8]	21,343 (-0.9) [15.1]	23,082 (8.1) [28.8]	22,313 (-3.3) [20.0]	23,198 (4.0) [-0.3]
民 需	26,882 (5.8) [2.5]	28,259 (5.1) [9.9]	28,822 (2.0) [14.0]	30,577 (6.1) [18.5]	9,031 (-7.4) [7.7]	10,633 (17.7) [32.6]	9,179 (-13.7) [14.9]	10,765 (17.3) [14.5]
〃 (Ex 船・電)	22,908 (6.4) [6.4]	23,997 (4.8) [9.6]	24,442 (1.9) [13.3]	25,474 (4.2) [16.4]	7,624 (-12.1) [6.7]	8,244 (8.1) [23.6]	7,863 (-4.6) [10.8]	9,367 (19.1) [16.1]
製 造 業	8,909 (5.5) [-4.2]	9,633 (8.1) [8.2]	9,829 (2.0) [14.8]	10,213 (3.9) [22.1]	3,106 (-7.8) [5.5]	3,259 (4.9) [24.0]	3,108 (-4.6) [8.0]	3,846 (23.7) [29.5]
非製造業 (Ex 船・電)	14,377 (10.6) [14.1]	14,344 (-0.2) [10.4]	15,052 (4.9) [12.4]	14,898 (-1.0) [11.8]	4,715 (-11.5) [7.6]	5,002 (6.1) [23.1]	4,746 (-5.1) [12.6]	5,151 (8.5) [6.6]
官 公 需	8,454 (18.1) [7.4]	9,197 (8.8) [34.0]	8,135 (-11.5) [14.4]	7,196 (-11.5) [-9.1]	2,691 (3.0) [10.8]	2,486 (-7.6) [13.5]	2,595 (4.4) [4.7]	2,115 (-18.5) [-17.6]
外 需	24,402 (3.2) [7.8]	27,009 (10.7) [34.7]	25,814 (-4.4) [18.4]	27,499 (6.5) [12.8]	8,615 (3.2) [25.0]	8,933 (3.7) [29.8]	9,136 (2.3) [31.9]	9,429 (3.2) [-4.3]
代 理 店	2,678 (-8.4) [-4.1]	2,884 (7.7) [4.6]	3,076 (6.7) [16.2]	2,833 (-7.9) [-6.3]	1,030 (2.8) [15.3]	1,063 (3.2) [18.9]	994 (-6.5) [9.3]	7767 (-22.0) [-29.7]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内3月の新設住宅着工戸数は、総数で2,545戸(前年同月比6.8%減)となり、貸家が増加したが、給与住宅、分譲住宅、持家が減少し、全体では8か月ぶりに前年を下回った。また、前月比では244戸の減少となった。

3月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	768	▲ 13.5	21,650	▲ 13.0
・分譲住宅	719	▲ 22.1	18,468	▲ 8.5
貸家系・貸家	1,055	26.8	28,925	11.3
・給与住宅	3	▲ 96.6	368	▲ 9.6
総数	2,545	▲ 6.8	69,411	▲ 2.9

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

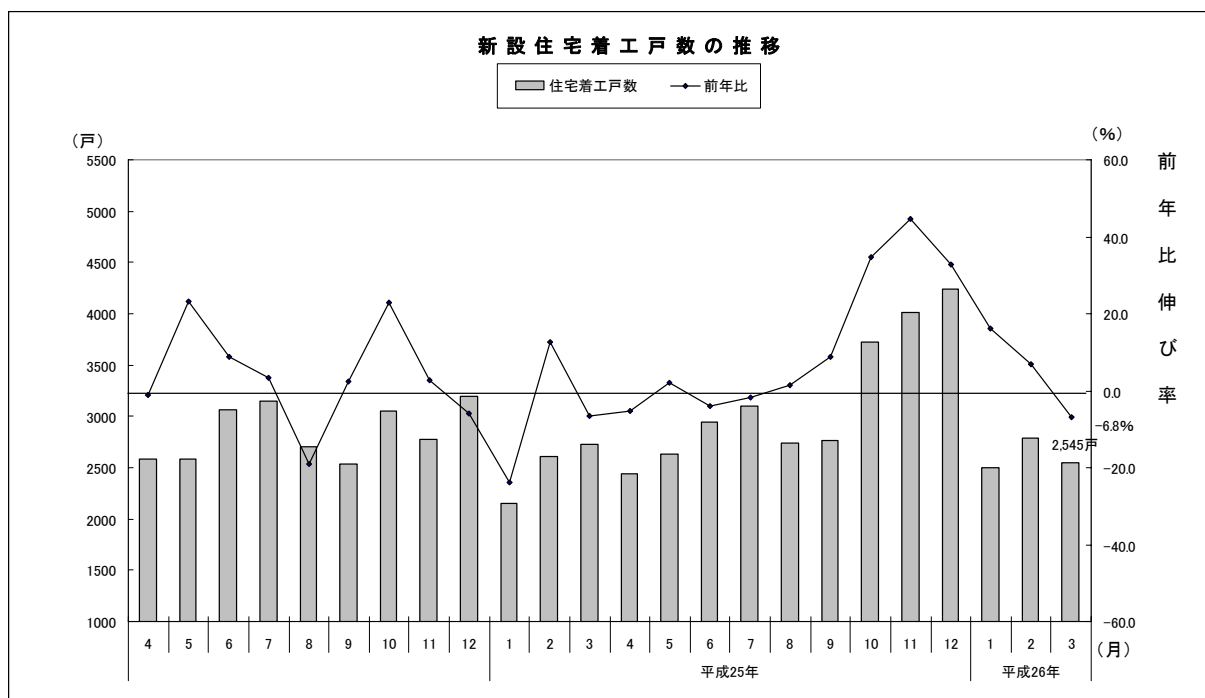
3月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	709	600	395	335	160	154	96	26	38	32	2,545
前月比	-30.6	6.2	51.9	6.0	37.9	-45.8	14.3	-7.1	5.6	-59.0	-8.7

資料：兵庫県住宅政策課

平成26年3月の新設住宅着工累計は、総数で2,545戸、前年同期比237戸の減少となった。利用関係別では「持家」が768戸(前年同期比13.5%減)、「貸家」が1,055戸(同26.8%増)、「分譲住宅」が719戸(同22.1%減)、「給与住宅」が3戸(同96.6%減)となった。



【公共工事】

4月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は350件で前年同月比5.1%の減少、請負金額は554億円で同64.6%の増加となり、金額ベースでは3か月連続で前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「兵庫県」前年同月比▲34.4%で減少となったが、「その他の団体」同753.1%、「神戸市を除く市町」同127.8%、「独立行政法人等」同124.1%、「国」は同96.6%、「神戸市」同25.3%が増加となり、前年同月を上回った。

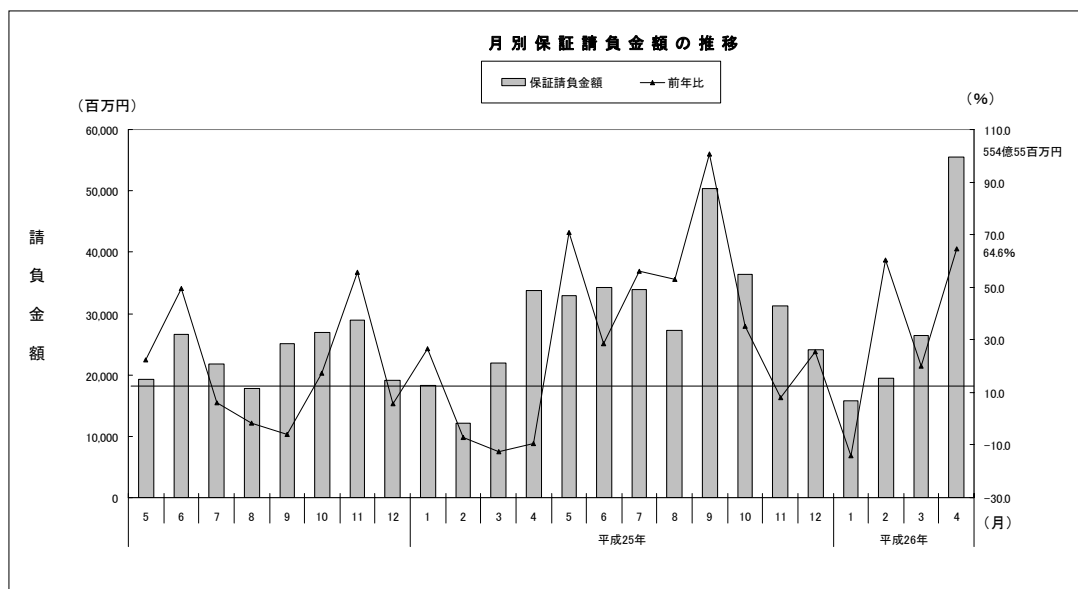
地域別(金額ベース)では、但馬(前年同月比234.9%)、阪神北(同181.2%)、西播磨(同169.6%)、東播磨(同136.1%)、丹波(同113.5%)、神戸市(同60.6%)が増加となり、中播磨(同▲73.2%)、淡路(同▲66.1%)、阪神南(同▲12.4%)、北播磨(同▲9.6%)が減少となった。

4月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	10(11.1)	1,489(96.6)	神戸第2地方合同庁舎耐震改修工事
独立行政法人等	17(▲10.5)	12,312(124.1)	新名神高速道路有馬川橋工事 新名神高速道路道場トンネル工事 新名神高速道路神戸ジャンクション東工事 新名神高速道路坊川第一橋他1橋工事 新名神高速道路一庫大路次川橋他1橋工事 中国横断自動車道国見山トンネル工事 新名神高速道路猪瀨西第一橋他4橋工事 新名神高速道路猪名川東工事 新名神高速道路広根第二高架橋他4橋工事
兵庫県	192(▲9.9)	11,750(▲34.4)	道路総合住大5001-0-003号川西インター線(仮)一庫大路次川橋上部工事 病企第4号県立こども病院空気調和設備工事 病企第3号県立こども病院電気設備工事
神戸市	27(▲10.0)	2,229(25.3)	
神戸市を除く市町	92(7.0)	13,969(127.8)	城山配水池更新工事 街第23号太子町新庁舎建設工事
その他の団体	12(0.0)	13,703(753.1)	北但ごみ処理施設整備・運営事業施設建設工事
合計	350(▲5.1)	55,455(64.6)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成26年4月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,165億円、前年同月比2.9%の増加で、総額ベースで14か月連続して増額となった。輸出は、非鉄金属などが増加したものの、繊維機械などが減少した。一方、輸入は、金属鉱及びびくずなどが増加したものの、たばこなどが減少した。

輸出は4,564億円(前年同月比2.4%増)と2か月ぶりに増加した。

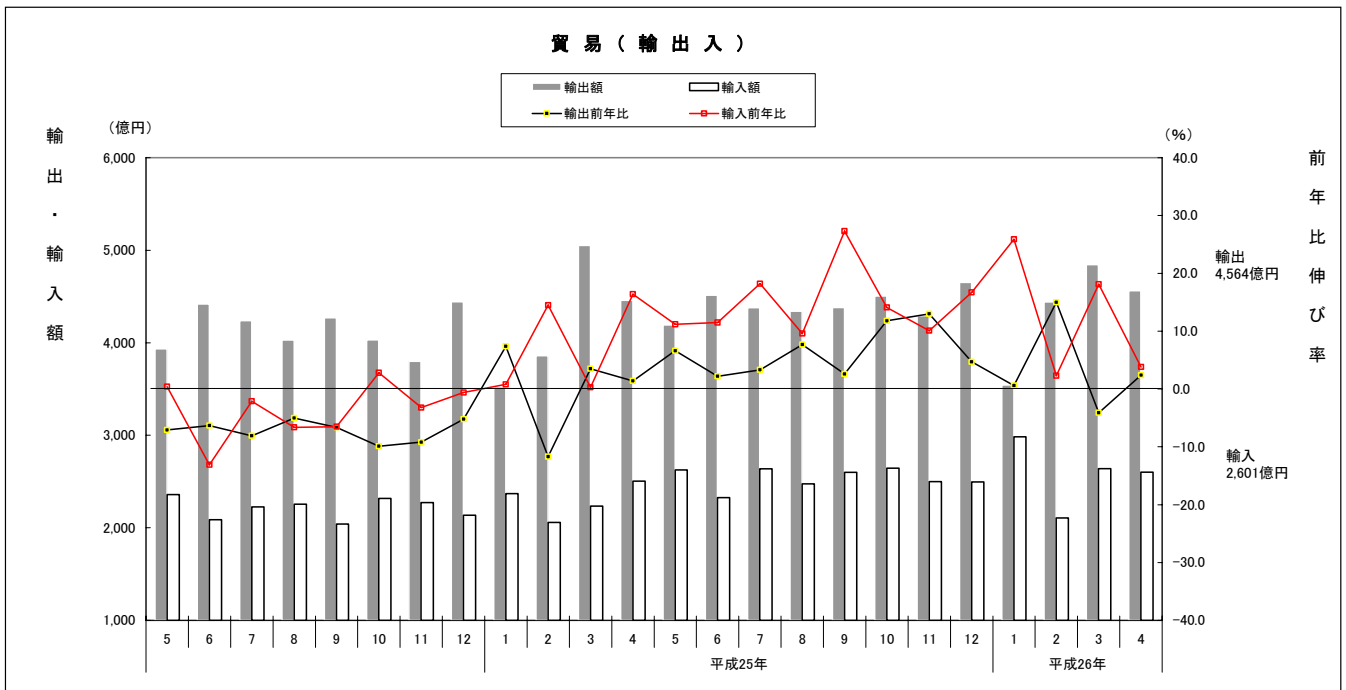
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比10.0%増、2か月ぶりにプラス)、プラスチック(同8.8%増、16か月連続プラス)が増加し、原動機(同18.0%減、2か月連続マイナス)、織物用糸及び繊維製品(同5.1%減、2か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比5.9%増、22か月連続プラス)、中国(同1.1%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、EU(同12.2%減、2か月連続マイナス)、アジア(中国含む)(同0.9%減、2か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,601億円(前年同月比3.8%増)と16か月連続で増加した。

主要品目では、有機化合物(前年同月比7.0%増、2か月連続プラス)が増加し、たばこ(同57.4%減、12か月連続マイナス)、衣類および同付属品(同9.6%減、2か月ぶりにマイナス)、非鉄金属(同9.0%減、8か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(中国含む)(前年同月比11.6%増、2か月連続プラス)、中国(同6.4%増、2か月連続プラス)が増加し、米国(同4.4%減、13か月ぶりにマイナス)、EU(同2.9%減、17か月ぶりにマイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

4月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が102.4(平成22年=100)となり、前月比は1.5%上昇、前年同月比は、3.1%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は102.4となり、前月比は1.5%上昇、前年同月比は2.8%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は101.2となり、前月比は1.5%上昇、前年同月比は1.9%上昇となった。

前月からの動きを見ると、魚介類などの値上がりにより「食料」が1.4%、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が3.0%、交通などの値上がりにより「交通・通信」が2.0%、シャツ・セーター・下着類などの値上がりにより「被服及び履物」が4.6%、家庭用耐久財などの値上がりにより「家具・家事用品」が3.9%、理美容用品などの値上がりにより「諸雑費」が1.7%、ガス代などの値上がりにより「光熱・水道」が1.1%、医薬品・健康保持用摂取品などの値上がりにより「保健医療」が1.9%、設備修繕・維持の値上がりにより「住居」が0.1%、補習教育などの値上がりにより「教育」が0.2%、それぞれ上昇した結果、総合指数では1.5%の上昇となった。

※前月比下落となった10大項目はありませんでした。

4月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	102.4	100.8	101.3	116.7	103.0	104.2	99.4	102.6	101.2	98.1	108.3	102.4	101.2
前月比	1.5	1.4	0.1	1.1	3.9	4.6	1.9	2.0	0.2	3.0	1.7	1.5	1.5
前年同月比	3.1	4.0	-0.5	10.3	6.7	2.8	2.1	2.7	0.2	3.9	5.2	2.8	1.9

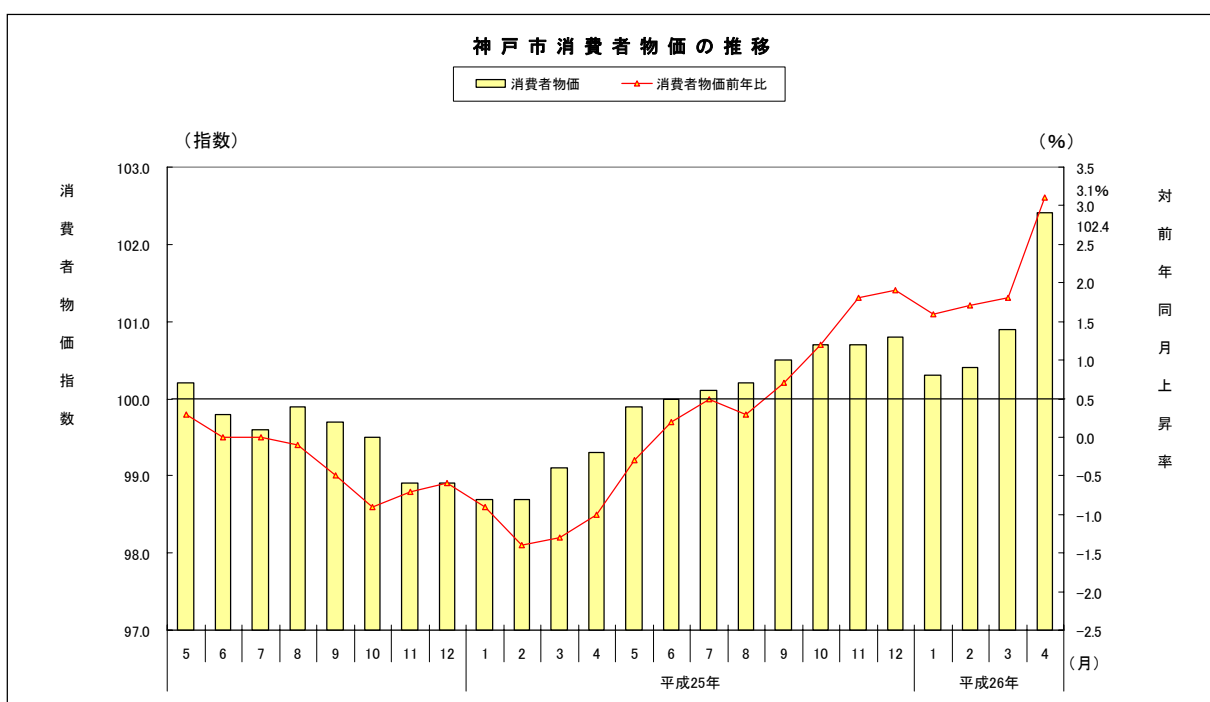
(注)平成22年=100

資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

魚介類 (+ 3.8%)・・・いか、さけ、あじ

教養娯楽サービス (+ 3.2%)・・・宿泊料、インターネット接続料、外国パック旅行



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が5月14日に発表した、企業物価指数(速報)による2014年4月の企業物価指数は次のとおり。

4月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.7	2.8	4.1
輸 出 物 価	109.1	0.1	1.5
輸 入 物 価	127.0	▲0.3	2.6

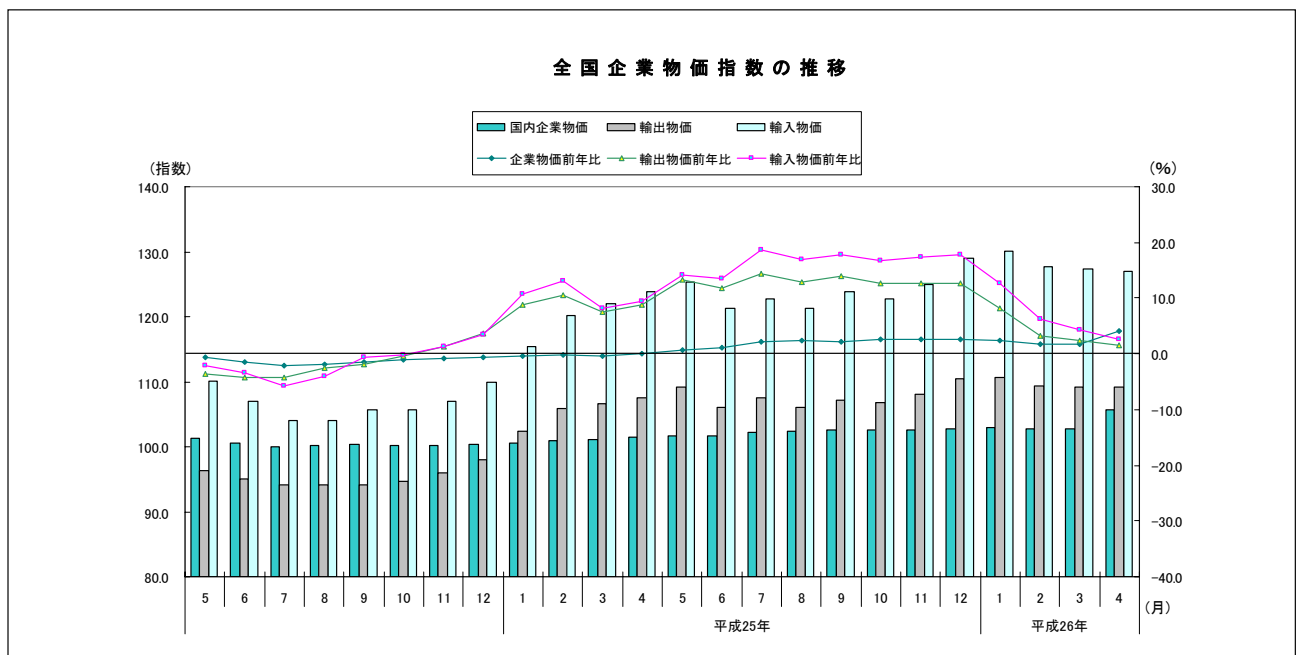
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前月比+3.6%＜産業用特別高圧電力など＞）、石油・石炭製品（同+3.3%＜ガソリンなど＞）、鉄鋼（同+3.1%＜熱延広幅帯鋼など＞）、食料品・飲料・たばこ・飼料（同+2.9%＜たばこなど＞）、輸送用機器（同+2.9%＜シャシー・車体構成部品など＞）、その他工業製品（同2.9%＜平版印刷物など＞）等が上昇した。全体では前月比2.8%となった。

4月は105.7と前年同月比で4.1%上昇した。消費税を除く国内企業物価指数は102.9で前月比0.1%、前年同月比1.4%上昇した。

輸出物価は、その他産品・製品（前月比-0.2%＜ジェット燃料油・灯油など＞）、はん用・生産用・業務用機器（同-0.1%＜ニット機械など＞）、化学製品（同-0.1%＜カプロラクタムなど＞）、電気・電子機器（同-0.1%＜ビデオカメラ・デジタルカメラなど＞）が下落したが、輸送用機器（同+0.5%＜駆動・伝導・操縦装置部品など＞）等が上昇し、円ベースでは前月比0.1%の上昇（前年同月比+1.5%）となった。

輸入物価は、食料品・飼料（前月比0.8%＜豚肉など＞）等が上昇したが、化学製品（同-1.1%＜メタノールなど＞）、はん用・生産用・業務用機器（同-0.5%＜カメラ用レンズ・交換レンズなど＞）、石油・石炭・天然ガス（同-0.1%＜原油など＞）等が下落し、円ベースでは前月比0.3%の減少（前年同月比+2.6%）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内3月の新規求人数(全数)は、28,330人(前年同月比2.4%増)で、9か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は82,916人(同9.9%増)で47か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比1.5%増で9か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同1.5%増で4か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同27.6%増で5か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比3.2%増)、製造業(同14.4%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同15.9%増)、宿泊業、飲食サービス業(同29.5%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同14.4%増)、サービス業(同16.1%増)は前年を上回り、運輸業、郵便業(同4.1%減)、卸売業、小売業(同3.6%減)、医療、福祉(同4.9%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

3月の新規求職申込件数(全数)は22,364件(前年同月比7.3%減)で8か月連続して前年を下回った。

また、月間有効求職者数(全数)は91,755人(同8.1%減)で46か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比7.8%減で8か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同5.9%減で2か月連続で前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比46.8%減で7か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比2.1%増で7ヶ月連続して増加した。事業主都合離職者は同23.5%減で14か月連続、自己都合離職者は同7.0%減で6か月連続、自営・他は同15.3%減で34か月連続、無業者は同6.2%減で27か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、20,673人(前年同月比12.5%減)で、14か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

3月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.33倍(前月比0.08ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率については0.85倍(前月比0.01ポイント減)で前月を下回った。

(4) 失業者の状況

3月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.6%、完全失業者数(原数値)は246万人(前年同月比34万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.4%(前年同月比0.5ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は46万人(前年同月比4万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
26年3月	38,330	1,989	2,916	298	1,417	4,045	180	491	809	2,443	1,162	7,154	4,048
前年同月比	2.4	3.2	14.4	▲15.3	▲4.1	▲3.6	13.9	5.4	15.9	29.5	14.4	▲4.9	16.1

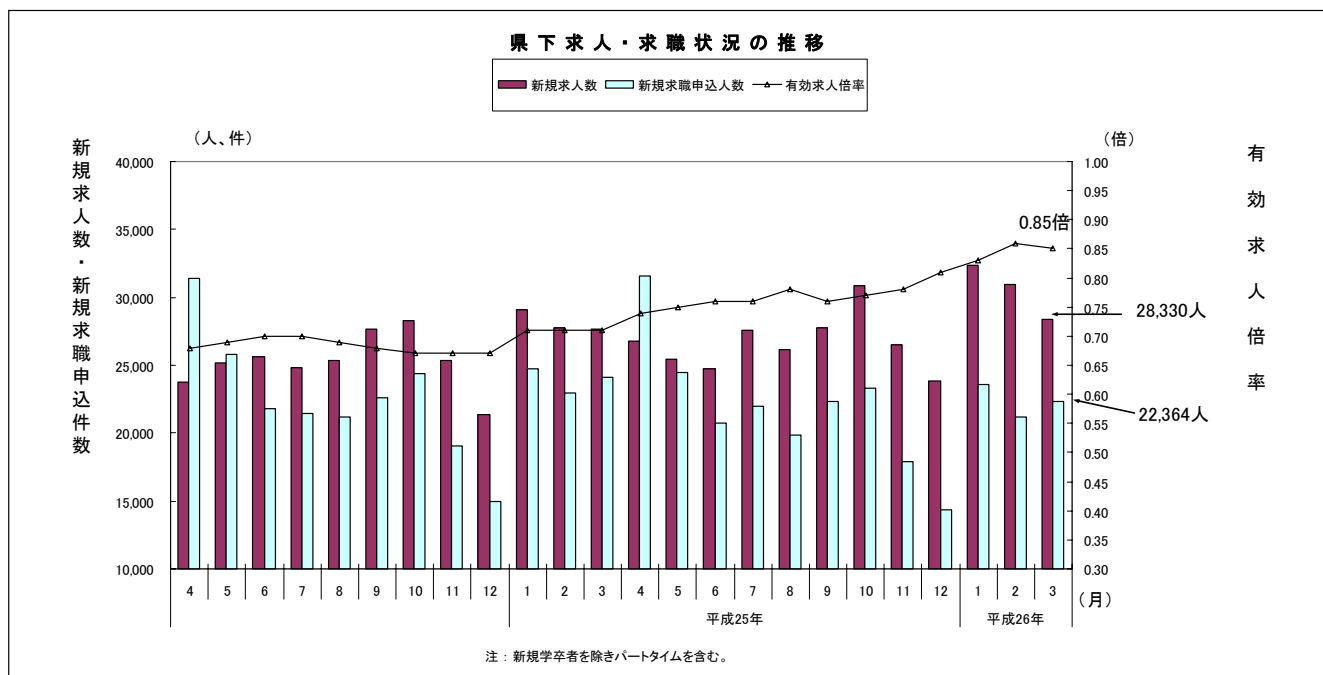
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	13/1-3	13/4-6	13/7-9	13/10-12	14/1	14/2	14/3
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.71	0.74	0.77	0.80	0.83	0.86	0.85
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	3.8	3.3	4.8	8.3	11.3	11.6	2.4
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	▲4.0	▲2.8	1.8	5.8	11.0	13.6	12.9
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	▲1.1	▲0.2	▲0.4	0.1	0.4	0.5	0.4
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.1	0.9	▲1.6	▲0.8	▲0.5	▲0.7	0.2

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

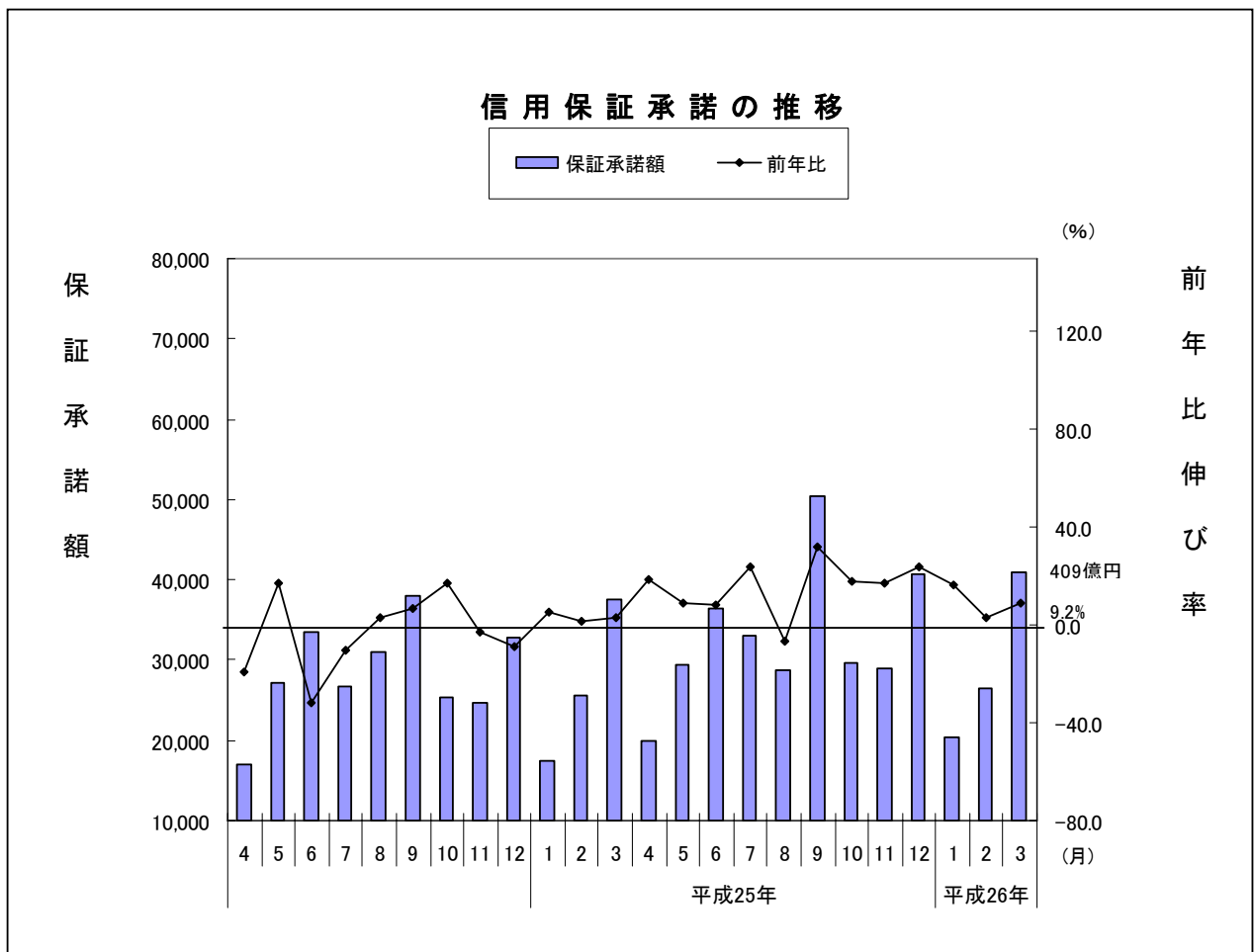
兵庫県信用保証協会による3月の保証承諾実績は、件数で2,356件(前年同月比9.7%増)、金額は409億14百万円(同9.2%増)となり、件数、金額ともに前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金 37,706 百万円 (前年同月比 7.6%増)、設備資金 1,164 百万円 (171.6%増) となり、運転資金、設備資金ともに前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」2,887 百万円 (前年同月比 77.8%増)、「飲食店」1,042 百万円(同 45.7%増)、「卸売業」8,752 百万円 (同 19.5%増)、「サービス業」5,210 百万円 (同 16.0%増)、「不動産業」1,665 百万円 (同 12.9%増)、「小売業」4,662 百万円 (同 2.2%増) 等で前年同月を上回り、「製造業」7,888 百万円 (同 8.8%減)、「建設業」8,508 百万円 (同 0.1%減) 等で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、178 件(前年同月比 58.9%減)、28 億 38 百万円(同 48.3%減)となった。

3月末の保証債務残高は、101,219 件(前年同月比 5.7%減)、1兆1,629 億 33 百万円(同 5.7%減)となった。



【金 融】

2月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	146,720	2.0	54,756	▲ 0.8
地 方 銀 行	25,301	4.2	21,841	5.2
第 二 地 方 銀 行	32,679	2.0	20,786	5.1
信 用 金 庫	80,911	1.6	37,717	1.3
そ の 他	17,032	▲1.5	17,215	0.7
計	302,643	1.9	152,315	1.5

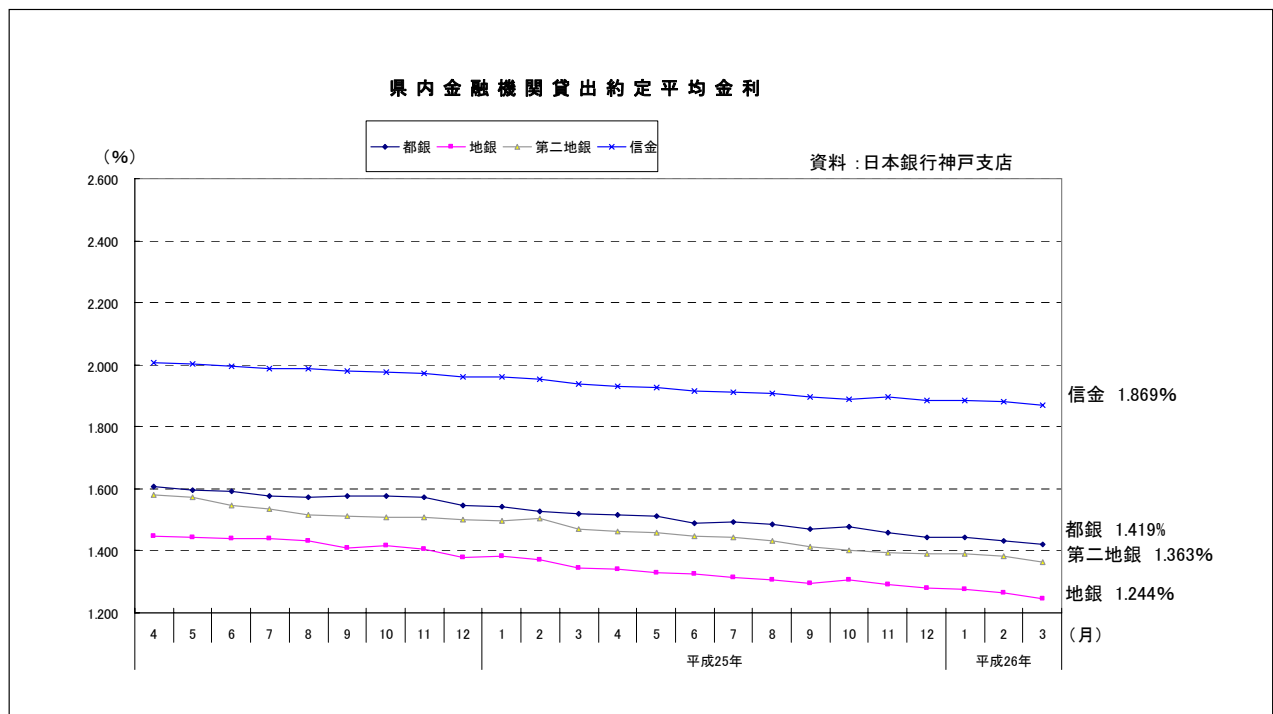
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

2月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+1.9%)

2月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比+1.5%)

3月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(3月末水準 1.536%、前月比▲0.018%ポイント)。



【倒 産】

県内4月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は49件で前年同月比8.88%の増加、負債総額は47億9百万円で同32.39%の減少となった。

倒産件数は、前月比3件(6.52%)の増加。前年同月比では4件(8.88%)の増加となった。また、4月単月では過去10年間(平成17年以降)で、4番目に少ない件数であった。

負債総額は10億円以上の大型倒産が1件発生した一方で、1億円未満が37件発生、月次倒産における構成比は75.5%となっており、総じて、引き続き「小規模倒産」が多く見られた。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が38件(全体の77.6%)を占めた。

業種別(件数)では、「サービス業他」が19件(前年前月比7件増加)でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満までの倒産が34件発生し、全体の69.5%を占めた。

「産業別」では、「サービス業他」が19件でトップとなった。

近年続く倒産傾向と同様に、総じて「小規模倒産」が散見される兵庫県下の倒産現況であり、経営体力を落としている零細・小規模企業ほど、景気対策等の恩恵は十分に受けているとはいえない状況下において、緩やかながら倒産件数が増加基調を辿っている事を踏まえると、引き続き小規模企業を中心として、その推移を注視していく事が肝要である。

4月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	2	9	-7	8	-6	建設業	7	7	0	16	-9
過小資本	2	2	0	4	-2	製造業	6	6	0	6	0
連鎖倒産	5	2	3	0	5	卸売業	6	6	0	6	0
赤字累積	3	4	-1	5	-2	小売業	6	5	1	3	3
販売不振	35	29	6	27	8	情報通信業	0	2	-2	1	-1
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	19	19	0	12	7
その他	2	0	2	1	1	不動産・運輸業他	5	1	4	1	4
合計	49	46	3	45	4	合計	49	46	3	45	4

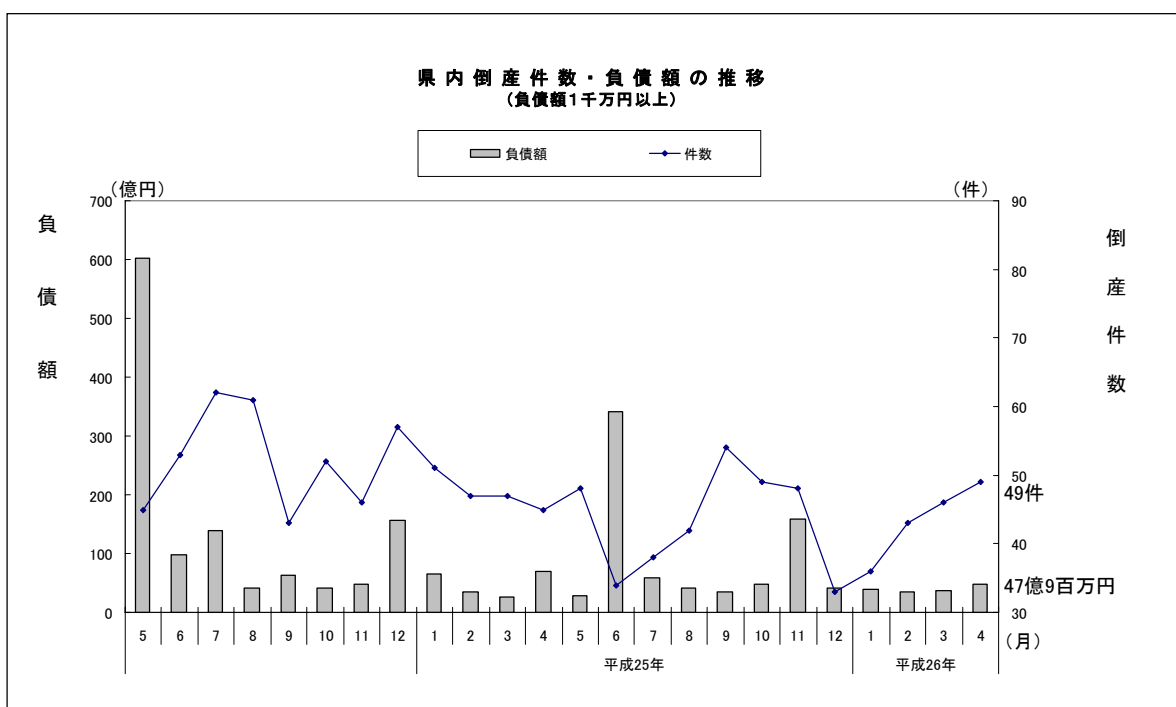
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1
25年 8月	42	14	14	7	6	1	0	0
25年 9月	54	19	10	11	9	3	1	1
25年 10月	49	17	11	11	4	3	2	1
25年 11月	48	20	15	3	8	0	0	2
25年 12月	33	14	6	5	7	1	0	0
26年 1月	36	11	6	10	6	2	1	0
26年 2月	43	17	8	6	11	1	0	0
26年 3月	46	23	11	9	0	1	1	1
26年 4月	49	18	15	10	4	2	0	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (22年=100)		全国 (22年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
25年 1月	97.6	0.3	94.0	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	97.1	-1.3	94.8	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	96.5	3.2	95.1	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	92.5	-0.8	95.7	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	92.6	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	95.5	1.1	95.0	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月	100.3	3.3	97.6	3.4	339	56.1	29.4	3,100	5.5	12.0
8月	94.0	-5.5	97.1	-0.9	272	52.9	7.9	2,735	-11.8	8.8
9月	97.6	3.5	98.6	1.3	502	100.6	29.4	2,759	8.9	19.4
10月	100.6	2.0	99.2	1.0	364	35.3	3.5	3,719	34.8	7.1
11月	100.4	0.0	99.5	0.1	313	8.1	4.9	4,017	44.5	14.1
12月	104.4	1.3	100.0	0.9	241	25.6	7.5	4,238	32.7	18.0
26年 1月	r 106.3	3.0	103.9	3.8	157	-14.2	28.8	2,504	16.2	12.3
2月	r 103.7	-2.9	101.5	-2.3	193	60.5	3.7	2,789	7.0	1.0
3月	103.1	-0.6	102.2	0.7	263	20.2	18.1	2,545	-6.8	-2.9
4月					554	64.6	10.0			
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,371	0.8
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,862	-11.7	2,058	14.5
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	4,459	1.4	2,504	16.4
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	4,194	6.6	2,625	11.2
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	4,515	2.2	2,327	11.5
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8	-2.2	4,379	3.3	2,638	18.2
8月	11,926	1.4	-1.6	145	-3.6	3.0	4,342	7.7	2,474	9.6
9月	17,366	14.1	18.1	144	-1.4	3.0	4,382	2.6	2,600	27.3
10月	13,869	21.2	18.4	158	-5.8	-0.4	4,507	11.8	2,644	14.1
11月	14,661	22.0	16.7	183	-0.9	2.6	4,293	13.0	2,499	10.1
12月	13,905	22.6	26.5	251	-2.7	1.9	4,653	4.7	2,495	16.7
26年 1月	17,055	27.5	30.6	187	-2.7	3.2	3,543	0.6	2,984	25.9
2月	20,071	18.5	18.8	147	2.8	2.9	4,442	15.0	2,106	2.3
3月	25,740	19.9	16.7	223	26.8	25.3	4,845	-4.1	2,639	18.1
4月	10,732	-10.4	-5.1	135	-15.4	p	4,564	2.4	p 2,601	3.8
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
25年 1月	0.70	0.84	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	99.9	-0.3	99.8	-0.3
6月	0.76	0.92	1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.2	99.8	0.2
7月	0.76	0.94	1,053	0.0	100.4	0.4	100.1	0.5	100.0	0.7
8月	0.78	0.95	1,050	0.0	100.0	0.4	100.2	0.3	100.3	0.9
9月	0.76	0.95	1,046	-0.5	100.2	0.9	100.5	0.7	100.6	1.1
10月	0.77	0.98	1,048	0.1	100.8	1.5	100.7	1.2	100.7	1.1
11月	0.78	1.00	1,051	0.2	101.0	1.2	100.7	1.8	100.8	1.5
12月	0.82	1.03	1,050	0.3	101.7	1.3	100.8	1.9	100.9	1.6
26年 1月	0.83	1.04	1,043	0.4	100.4	1.0	100.3	1.6	100.7	1.4
2月	0.86	1.05	1,039	0.5	100.6	0.8	100.4	1.7	100.7	1.5
3月	0.85	1.07	1,039	0.4	101.1	0.6	100.9	1.8	101.0	1.6
4月							102.4	3.1		
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	102.2	2.2	150,656	0.1	1.296	38	58	17	7	14
8月	102.4	2.3	151,104	0.6	1.291	42	42	14	14	14
9月	102.6	2.2	152,378	0.4	1.291	54	34	19	10	35
10月	102.5	2.5	151,258	1.0	1.277	49	47	17	11	21
11月	102.5	2.6	152,669	1.7	1.271	48	157	20	15	13
12月	102.8	2.5	153,631	1.5	1.258	33	41	14	6	13
26年 1月	103.0	2.5	152,338	1.3	1.254	36	38	11	6	19
2月	102.8	1.8	152,315	1.5	1.250	43	33	17	8	18
3月	102.8	1.7			1.234	46	37	23	11	12
4月	105.7	4.1				49	47	18	15	16
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値